

# 街を行く

第75回 シンガポール Singapore

## このカジノは手本になる？

皆さんは、シンガポールにどんなイメージをお持ちですか？

アジア金融のビジネス拠点、ポイ捨てがない街、富裕層への優遇国、研究施設が整うハイテク都市…と、いろんな側面が浮かびますよね。大国として成長を遂げ、多様な特色があるこの街は、いったいどうなのか様子をみにいきましょう。

まずは中心地市街。西洋的な雰囲気で、かつての英國領時代を思わせます。とはいっても高い湿度と酷い暑さは、ここは南の国であることを思い出させます。洗練した台湾とも、清潔な香港とも言えない、どうにも説明しにくいところです。

街を歩くとすぐに汗だく。それでもひたすら歩き回るうち目についたのは、統合型リゾート「マリーナ・ベイ・サンズ」でした。建物は3本の超高層ビルが屋上で連なった格好。屋上は空中庭園で、入場料さえ支払えば誰でも入れます。高層ビルはカジノ、ホテル、ショッピングモール、レストラン、美術館まで揃っています。ユニークな形状の複合施設は日本にもありますが、これほど目立つものはないですね。へんてこな建物も街中でちらほら。デザインセンスはドバイ的？と言えるかもしれません。

また、アジアの国々ならではとも言える癒し的要素は見かけませんでした。それどころか、街歩きで一貫性のない建物ばかりを眺めているうち、少し疲れてしまう始末です。

過去を捨て新たにつくり直された都市国家——。この国すべてがそうではなく



ラッフルズ・ホテル（写真下）は洗練された西洋的雰囲気、サンズ（写真上）は奇抜で個性的なドバイ的雰囲気



いものの、シンガポールという街を一語で語るところです。

観光という点では、リゾートにカジノを併設して成功していることは、導入検討中の日本にとって格好の見本でしょう。カジノ解禁について一言考えを述べると、日本が観光立国を目指すうえで仕方ないかもしれませんのが、わが国には歴史と言う観光要素もあり、それをリゾートにどう活かすかが鍵になるでしょうね。

実は小生、今回は携帯電話を日本に置いたまま来たのですが、滞在したホテルの客室に携帯電話が完備され、海外も含め無料でかけ放題。その料金は部屋代に含まれていたかもしれません。このサービスには感動した次第で

す。

最後に、食については日本食であふれています。毎日三食とも無理なく和食にありつける環境でビックリしました。それにかなり美味しかったですよ。

南一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エース・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発（旧松下興産）の代表取締役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役に就任。